

圃場整備はどうすすめるか

推進委員会を設置し整備すすめる



稲留 光晴 議員

本町の長年の課題である圃場整備をどうすすめていくか。

推進委員会を設置し整備をすすめる

町長

圃場整備事業の早期かつ円滑な実現を推進するため委員会を設置し、未整備地域関係者と議論を重ね方針を明確にしている。

地元企業の人材確保をどうすすめるか

稲留議員

地元企業は人材確保や後継者づくりにも苦勞している。行政としての支

援策を具体的に示せ。

積極的に情報発信に取り組む

町長

企業、学校、保護者との意見交換などを行い、新年度においては中学生に地元企業紹介の冊子を作成配布し、将来の就職先として選んでもらうよう情報発信に取り組む。

国保財政の厳しさにどう対策を講じるか

稲留議員

30年度から国民健康保険事業は県へ連合化されるが住民負担の増加が懸念される。従来通り法定外繰入をして、負担軽減策を十分検討しなければならぬがどうか。

被保険者の健康維持、増進図り、医療費削減する

町長

国保データヘルス計画を基に、特定検診、CKD慢性腎臓病予防教室などに取り組み、特定保健指導や被保険者の健康保持・増進を図り、医療費を削減し、負担軽減していく。

松本商会はなぜ一時休業したのか

稲留議員

旧大崎第一中学校跡地への松本商会の工場は、操業何カ月もたっていないのになぜ休業しなければならなかったか。

社長が自損事故をおこしたためである

町長

社長が退院後しばらく

療養するため、ポリフィルム加工の継続が不可能になった。

社長が入院したら工場が休業するのか

稲留議員

普通の工場経営者は工場長を置き、工場長は生産管理を行い、現状を監督するものである。今回4人が解雇されている。社長が入院したら工場が休業するのか。

従業員への加工技術が確立されていなかった

町長

町内にある企業であれば工場長がいて体制はしっかりしているが、従業員への加工技術確立前に社長が自損事故をおこし入院したため、一時休業となった。

野方インター前の町有地の購入・用途目的は何か

稲留議員

定住化促進のための住宅政策について、野方イ

ンター前に、約4haの町有地があるが購入目的と用途は何か。

企業誘致目的に購入した

町長

平成22年度に企業誘致目的に購入した。物件情報や立地条件等の紹介を行ってきた。

分譲する考えはないのか

稲留議員

野方インターができ、交通の便が良くなり、近隣自治体へのアクセスが大変良い環境ができた。土地を分譲する考えはないのか。

現在のところ分譲地として開発予定はない

町長

インターチェンジに近い立地条件であり、広大な敷地物件であることから、これまで複数の企業から問い合わせをいただいている。引き続き企業誘致用地として活用を考

ての開発予定はない。

東串良町の定住分譲政策への称賛の声が多いが

稲留議員

東串良町は第5次分譲を開始している。町外からこれまで100世帯約370人が入居されている。佐賀県、京都府、岐阜県、宮崎県など、年齢も30歳代が約4割、20代、40代が6割を占めており、本町からも称賛の声が多いがどう思うか。

課題は農地法の壁である

町長

東串良町の分譲は大変有名になっている。本町もいろいろ用地選定しているが一番の課題は農地法の壁である。最終的には分譲は必要との思いはある。分譲について、できるところがあれば積極的に乗り出していく。

※法定外繰入とは、国保財政の赤字補てんなどのために、やむを得ず一般会計から繰り入れるもの。